プレス資料

平成１８年２月９日
あんしん高度化ガスコンロ普及開発研究会

「キッチンからの火災の根絶に向けた取り組み」について
～より安全で、安心なキッチンの創造に向けて～

コラボ（日本ガス体エネルギー普及促進協議会）、㈳日本ガス石油機器工業会、キッチン･バス工業会は、関連諸団体とともに、お客さまがより安全に、安心して暮らせるよう、キッチンからの火災の根絶を図るため、「あんしん高度化ガスコンロ普及開発研究会（座長：草野コラボ会長）」（以下、「コンロ研究会」）を立ち上げ、より安心してお使いいただけるガスコンロの普及・開発を進めていくこととしました。

＜取り組みの目的・背景＞

ガスエネルギー供給者、ガス機器メーカー、ガス機器販売者は、お客さまにガス機器をより安全に、安心してお使いいただけるよう、従来から、行政、関連諸団体とともに、安全性の高いガス機器の普及・開発に取り組んで参りました。

一方、消防庁発表の全国の建物火災を出火原因別に見ると、コンロ（電気を含む）を原因とする火災の発生件数は、2004 年では 5,800 件程度（全建物火災の 17％程度）となっており、この分野における対策が急務であると考えております。

このようなことから、このたび、コラボ、㈳日本ガス石油機器工業会、キッチン･バス工業会、関連諸団体から構成される「コンロ研究会」を立ち上げ、行政のご指導を頂きながら、キッチンにおける火災の根絶を目指して、より安心してお使いいただけるガスコンロの普及・開発を進めていくこととしました。

＜具体的な取り組み＞

（１）キッチンにおける火災対策として、コンロ研究会での検討に先行して、2005 年８月以降にガスコンロメーカーが製造する２口または３口のガスコンロについては、天ぷら火災などの出火を防ぐ機能を有する「あげルック®（調理油過熱防止装置）※1」が１口以上に装備されるようになっています。これを踏まえ、今後、

①「あげルック®」の機能、

②天ぷらや揚げ物を調理する際は、「あげルック®」を搭載したバーナーをお使いいただくこと、

を広く周知して参ります。

（２）上記の取り組みによってコンロからの火災は大きく減少し、ガスコンロをより安心してお使いいただけることになりますが、コンロの消し忘れを懸念するお客さまが多いことも念頭に置き、さらにガスコンロを安心してお使いいただけるよう、技術開発と普及促進に努めて参ります。

具体的には、ガスコンロの省エネ性、調理性等も重視しつつ、2008 年４月以降ガスコンロメーカーが製造するガスコンロについて、

①「あげルック®」を全バーナーに標準装備、

②「コンロ消し忘れタイマー※2」を全バーナーに標準装備、

することを目指して努力して参ります。

＜取り組みに対する決意＞

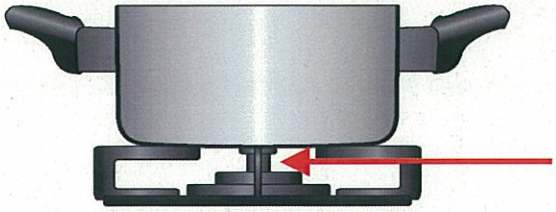
キッチンは家族団欒の場であり、料理をしながら、食事をしながら、家族とのコミュニケーションを深める場です。このようなキッチンをより安全に、安心して過ごせる空間とすべく、コンロ研究会は、消費者の皆様方の声や料理研究家のアドバイスも頂きながら、一丸となって取り組んで参ります。

※１　「あげルック®」とは、温度センサーにより鍋底の温度を感知し、温度が約 250℃より高くなると自動消火する装置で、「調理油過熱防止装置」と呼ばれています。一般に天ぷら油は約 370℃に達すると自然発火（火の有無にかかわらず、自然に火がつく現象）するので、「あげルック®」を搭載したバーナーで調理すれば、天ぷら火災を未然に防ぐことができます。天ぷら火災は、油に火が入って発生するのではなく、油の自然発火が原因となって発生するものです。

※２　「コンロ消し忘れタイマー」とは、コンロを消し忘れても、点火後一定時間が経過した時点で自動消火する機能です。

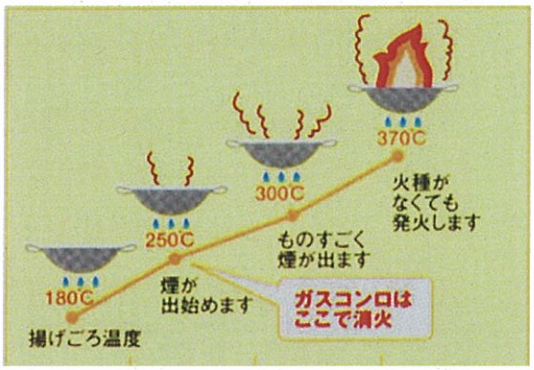
＜参考１＞「あげルック®」（調理油過熱防止装置）

【鍋が置かれた状態】



＜参考２＞「あげルック®（調理油過熱防止装置）の機能

温度



時間

＜参考３＞コラボ（日本ガス体エネルギー普及促進協議会）、㈳日本ガス石油機器工業会、キッチン･バス工業会の概要

団体名	概　　要
コラボ（日本ガス体エネルギー普及促進協議会）	・ガス体エネルギーの普及促進を図り、生活・文化の安定・向上、産業・地域の振興・発展、環境の改善等に寄与することを目的として、平成 17 年に発足 ・一般ガスの業界団体である㈳日本ガス協会、ＬＰガスの業界団体である日本ＬＰガス団体協議会、簡易ガスの業界団体である㈳日本簡易ガス協会の３団体で構成 ・会長：草野 成郎　㈳日本ガス協会　業務委員長（東京ガス㈱副社長）
㈳日本ガス石油機器工業会	・ガス・石油機器産業の健全な発展を図り、もって国民生活文化の向上とわが国産業の発展に寄与することを目的として、昭和 36 年に発足 ・ガス石油機器及び関連部品の製造及び販売会社、並びに賛助会員 146 社で構成 ・会長：小林 敏宏（㈱パロマ代表取締役会長）
キッチン･バス工業会	・システムキッチン、システムバス、ステンレス流し台、浴槽、その他の住宅設備機器業界の健全なる発展を図り、国民住生活文化の向上と我国住宅産業の振興に寄与することを目的として、昭和 32 年に発足 ・システムキッチンを中心としたキッチンメーカー、キッチン空間に関わりのある住宅設備機器・部材・部品・エネルギー等のメーカー65 社で構成 ・会長：阿部 正和（サンウエーブ工業㈱相談役）

＜添付資料＞

１．コンロ研究会のメンバー一覧

２．「あげルック®」（調理油過熱防止装置）の周知チラシ

あんしん高度化ガスコンロ普及開発研究会　事務局
（報道機関お問合せ先）㈳日本ガス協会　広報部
TEL　03－3502－0112

あんしん高度化ガスコンロ普及開発研究会　参加メンバー

2006/2/7

社名、団体名		役職	氏名	備　考
㈱ハーマン		代表取締役社長	寺内　修	
㈱パロマ		代表取締役社長	小林　弘明	
松下電器産業㈱		松下ホームアプライアンス社 リビングサポートシステム事業部長	森下　猛	
リンナイ㈱		代表取締役社長	内藤　弘康	
(社)日本ガス石油機器工業会		専務理事	櫻橋　晴雄	
(財)日本ガス機器検査協会		専務理事	膳場　忠	
キッチン・バス工業会		会長	阿部　正和	サンウエーブ工業㈱　相談役
		常務理事	島崎　喜和	
主婦連合会		会長	兵頭　美代子	
日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会		副会長	玉本　雅子	
コラボ (日本ガス体エネルギー普及促進協議会)	日本LPガス団体協議会	日本LPガス協会副会長	神野　康夫	新日本石油㈱　取締役執行役員
		全国エルピーガス卸売協会副会長	赤津　敏彦	エア・ウォーター㈱　専務取締役
		日本エルピーガス連合会副会長	川本　宜彦	㈱サイサン　代表取締役会長
	(社)日本簡易ガス協会	副会長	横内　稔	東京ガスエネルギー(株)　代表取締役社長
	(社)日本ガス協会	業務委員会委員長	草野　成郎	東京ガス(株)　代表取締役副社長執行役員
		業務委員会委員	國富　隆	東京ガス(株)　取締役常務執行役員
		業務委員会副委員長	中谷　秀敏	大阪ガス(株)　代表取締役副社長
		業務委員会委員	遠藤　侑宏	大阪ガス(株)　代表取締役専務取締役
		業務委員会副委員長	福本　豊	東邦ガス(株)　常務取締役
		業務委員会委員	田中　優次	西部ガス(株)　常務取締役

<オブザーバー>

社名、団体名		役職	氏名	備　考
総務省	消防庁	予防課長	寺村　映	
東京消防庁		予防部長	佐竹　哲男	
経済産業省	日用品室	室長	樋口　恭司	
	製品安全課	課長	清水　喬雄	
	石油流通課	企画官	中川　純一	
	ガス市場整備課	課長	守本　憲弘	
	ガス安全課	課長	大村　哲臣	
	液化石油ガス保安課	課長	志方　茂	
料理研究家			金子　ひろみ	

揚げものは必ず あげルック 側で!!

天ぷら油過熱防止装置（センサー）のついていない側のバーナでは
消し忘れによる油火災になった事例があります。

センサーが鍋底の温度を直接検知して、油温度をチェックしています。
特に揚げもの調理は、必ず あげルック マーク側で行ってください。
詳しくは取扱説明書をご参照ください。

JGKA (社)日本ガス石油機器工業会